

研究機関：広島大学

研究課題名	実験計画法を用いた Volumetric Modulated Arc Therapy (VMAT) の治療計画におけるビームの初期設定値最適化
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 放射線腫瘍学 教授 永田 靖
研究期間	2017年3月27日(倫理委員会承認後)～2019年3月
対象者	2008年4月から2017年2月の間に、広島大学病院放射線治療科でVMATによる放射線治療を受けるために治療計画用CTを撮影した患者さん。
意義・目的	治療計画の作成において、実験計画法(DoE)を応用した手法を導入する事により、これまで主に経験によって設定していた照射条件を最適化し、治療計画作成の効率化、高精度化に関する検証を実施する事を目的とします。
方法	本研究は過去に撮影された治療計画用CTを用いて行います。治療に用いた腫瘍および正常臓器の輪郭情報(コントールリング)および線量分布を使用します。カルテから使用する情報は性別、生年月、治療部位、照射方法、処方線量です。いずれにおいても個人を特定可能な情報は解析に使いません。
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-1545 広島大学病院 放射線治療科 教授 永田 靖